

進路通信

No.1

令和6年4月10日(水)
三次市立八次中学校
進路担当 栗原 知恵

ご入学・ご進級おめでとうございます！

みなさん、ご入学・ご進級おめでとうございます。新たな一年のスタートにあたり、目標を設定するなど様々な準備をしていると思います。

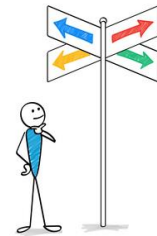
1・2年生にとっては、「進路決定は、少し先のこと」と思われるかもしれませんが、中学校の生活はわずか3年間。1年、1年の積み重ねが大切になってきます。

そして、3年生にとっては、中学校生活最後の1年となりました。この1年は「進路実現」という、皆さんにとっては人生の節目となる挑戦の年ですね。

「進路」とは、目先の高校進学のことだけを指すではありません。「今をどう生きるのか」、「これからどう生きるのか」、「どう生きたいのか」を生徒・保護者・教職員がともに考える過程です。家族や先生とじっくり相談し、最終的に自分の意志で決定することが大切です。

そのために、次の3点を意識してほしいと思います。

- ① 自分を見つめる。(現在・未来)
- ② 進路情報を集め、自分自身で考える。
- ③ 最終の進路決定は自分自身で行う。



まずは、自分の夢を実現させるために、自分を見つめ、今何をすべきか考えるとともに行動に移していきましょう。不安なことや困ったことがあったら、保護者や友だち、そして私たちにも相談してください。精一杯頑張ってください。

保護者の皆様、平素より八次中学校の教育にご理解・ご協力いただきありがとうございます。今年度の進路について担当をします栗原知恵です。お子様の進路選択の幅を拡大できるよう、努めてまいりたいと思います。よろしくお願いたします。

高等学校は、高等教育に耐えられ、将来を切り拓いていく学力を生徒に求めています。進路決定においても、「入学すること」がゴールではなく、自分が決定した進路先で様々な力を付け、さらに次のステップを自分で切り拓いていくことが重要です。進路の自己実現に向け、みなさんのさらなる成長を期待しています。

「自己表現」の準備はできていますか？

平成5年度広島県公立高等学校入学者選抜より導入された「自己表現」について、準備は進んでいますか？

1年生は、もちろん「これから」という人が多いでしょう。2・3年生はどうですか？「自己表現って何をやるの？」と思っている人や「表現することが見つからない」と思っている人もいます。

広島県教育委員会は、「自己表現は、『広島県の15歳の生徒に身に付けさせたい力』である『自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することができる力』がどのくらい身に付いているかをみるため」に実施するとしています。

日ごろから、自分を見つめ、何について表現するか、考えておくことが必要ですね。

オープンスクールに積極的に参加しよう！

どの高等学校、高等専門学校、専修学校も自校の特色や教育内容を知ってもらうために、オープンスクール(体験入学・学校見学会と言われることもある)を行っています。実際に高校等へ行き、施設等を見て、先生の話聞いて初めてわかることが多々あります。3年生だけでなく、1・2年生が参加できる場合がありますので、進路実現に向け、オープンスクールを進路情報の収集の場として捉え、積極的に参加をしましょう。

各校のオープンスクールについて、本校に実施案内があった場合は、進路通信にてお知らせをしますが、実施案内がない場合もあります(例えば県外の高等学校等)。興味のある高等学校等については、HPなどで確認をしましょう。

オープンスクール参加にあたり、次の4つの注意点を必ず守ってください。

【注意点】

- ① 保護者の承諾を必ず得る。
- ② 校内締め切りを必ず守る。(期限を過ぎると申し込みができない場合があります。)
- ③ オープンスクールに参加する場合は、原則、服装・持ち物は学校の登校と同じです。
- ④ 申し込んだら必ず参加する。